

梅鶯仏教壮年会報

第94号
2012年
2月26日

梅鶯仏壮定期総会

三月三十一(土)

午後六時より

役員会

同日

午後4時より

「出会い」

梅鶯仏壮会計

北村幸雄

親鸞聖人750回大遠忌法要に、終了
間近の1月14日に参拝してきました。
昨年10月の団参には区の用事で参加
できなかったため、仏壮でお世話になっ
ていた法輪寺の長野ご住職
の50年に1回の事で、
このように機会はないか
無計画でした。と、ご配慮か
です。

同じく区の用事で参加で
きなかった田中善博さんや
仏壮の仲間をはじめ7人ほ



どで参拝しました。
見学の特別に学芸員の方から
のお話しや貴重なシアター映像な
どを大遠忌法要では、最前列の特
席に座れました。大変な幸運にも
恵まれました。
いた法要の見させて頂
お器・音楽・読経・
動き・衣装などが一
体となつた進行等に
終始圧倒され続け、
凄かったです。



感謝していられたら、同時に、仏壮
に入っていました。という幸運にも感謝
していただきました。
梅鶯仏壮の話聞いたのは私が
年番の時、年番だったために仏
壮に参加させていたのだと言っ
ても過言ではありませんが、私の中にあ
る仏教の姿を、私の中にな
り、また同時に宇賀野での人とな
り、それまでの仏教は、私にとって
は縁遠く、ちよつと暗い(古い)
という印象がありました。
や、お伺いした各地での住職の話

ら、仏教はもつと明るく自然で身
近な教えだという印象に変わり、
今回の大遠忌参拝ではそのことを
強く再認識しました。
このように仏教本来の姿をうま
く伝える入られ、若い人達にも十
二分に受入れられると思えます。
野を離れ、帰ってからは、15年間宇賀
の夜遅くまで、浦島太郎で宇賀野
の人では、宇賀野に、顔見知りの方も
増え、ところどころ、顔見知りの方も
つ参加できるようなになりました。
例え、これでも、様々な方々と、
例会やお参拝旅行等、一緒に、
頂いたおかげです。これからも、
皆さんと一緒に、様々な経験を積ま
せて頂きたいと思ひます。
が大遠忌の帰りに恒例の反省会
が実施され、ここでも十分楽しい
時間を過ごさせて頂きました。
には、最後になりましたが、長野ご住職
ただき、お世話になりました。心か
ら感謝申し上げます。
何回か教えて頂いても、それ以上
に生徒です、お願いいたします。
も宜しくお願ひいたします。



